

市民の皆さまと真摯に対話を重ね、「市民力」と「共感力」を生かして、上田市の持続的発展に向け、積極果敢に取り組んでまいります。

令和5年度予算について

市の令和5年度当初予算編成に当たっては、総合計画に掲げる将来都市像を具体化するための施策展開を念頭に置き、「上田再構築プランVer.2.0」を踏まえ設定した6つの重点分野を具体化する事業に重点的な財源配分を行いました。

特徴的な事業として、国の「出産・子育て応援交付金」に加え、市独自の「上田市出産祝金」を創設するとともに福祉医療費給付事業の対象拡大、学校給食費の負担軽減など子育て世代の支援の充実に取り組めます。また、将来にわたる安全・安心な周産期医療提供体制の構築に向け、市立産婦人科病院の医療機能を信州上田医療センターに集約するための経費のほか、資源循環型施設整備の関連事業、市内全中学校の照明器具LED化改修

事業、上田城跡整備事業に係る経費などを計上しました。

資源循環型施設建設について

安全・安心な施設を目指すことを最優先に、資源循環型施設整備協議会において地域住民の皆さまと協議を行ってまいりましたが、今年度は並行して、建設候補地周辺地域のまちづくりにつきましても本格的な協議を開始いたしました。今後、市として素案を作成し、地域住民の皆さまにご意見をお聞きしながら、地域のまちづくりに関する計画を策定してまいります。

し尿前処理下水道投入施設整備につまましては、地元下之条自治会の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら進めてまいりましたが、令和5年度からは、国の補助事業を活用し、上下水道局において建設を進めることとなります。生ごみを堆肥化する有機物リサイ

クル施設の整備につまましては、建設候補地である丸子地域の陣場地区周辺自治会の皆さまへ、昨年12月に施設の概要や地域振興策、今後の予定などについて説明会を開催し、多くのご参加をいただきました。

「市民が主役のまちづくり」自治・協働・行政に対する取組

地域の個性や特性を生かした新たな分権型自治の創出を目指しております地域内分権の推進につまましては、平成28年以降、9地域に12の住民自治組織が設立され、住民の皆さまの自主的かつ主体的な取組により地域のまちづくりが進められてまいりました。

「誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり」産業・経済に対する取組

地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模企業に対する支援の実行計画である「上田市商工業振興プラン」の計画期間が今年度末で終了することから、次年度以降の計画を策定するため、現在、検討委員会を設け、作業を進めています。

また、農業の担い手育成や農業技術と最先端技術を組み合わせたスマート農業を推進していくため、新規就農者支援体制整備事業（NPAプロジェクト）と併せ、構成町村や関係機関と連携し、AI・IoTなどのスマート機器を活用できる新たな地域農業の担い手の確保、育成の推進に取り組んでまいります。

観光につままして、令和5年度は、20回目の節目を迎える上田城千本桜まつりをはじめ、当市の強みであります四季折々の魅力ある多くの地域資源を活かし、民間団体や事業者、学生の皆さまと連携したイベントの開催のほか、北陸新幹線沿線都市や真田氏にゆかりの自営体、長野・松本・上田トライアングルなどの広域的な連携により、さらなる誘客促進を図ってまいりたいと考えております。

「ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり」健康・福祉に対する取組

市では、内閣官房の「少子化対策地域評価ツール」の活用を推進するモデル都市として採択を受け、庁内関係課で組織する「少子化対策プロジェクトチーム」による、少子化進行の原因分析を行ったところ、県下市町村平均値に比べ、「第二子以降の出産が少ない」傾向が高いことや、子育て世代などへのアンケート結果では、第二子以降に踏み込めない理由として、「育児費用が高い」という回答が多く見受けられました。

このような状況に鑑み、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができることを目指し、市独自の施策として「上田市出産祝金」を令和5年度から新たに開始します。

新たな命の誕生に対するお祝いの意味を込めると同時に、上田市の特徴である第二子以降の出生数が伸び悩んでいる状況を捉え、第一子から第三子以降まで、段階的に金額を加算するものとし、子育て世代から選ばれるまちにつなげてまいります。

こうした中、中央地域の南部地区では、新たな住民自治組織の設立に向けた準備が着実に進められ、2月20日には「南部まちづくり協議会」として設立代議員会が開催される運びとなっております。

これまでの間、ご尽力をいただきました関係する皆さまに対し、改めて感謝と敬意を表しますとともに、今後の地域づくりを牽引する活動の展開に大いに期待するところであります。

「安全・安心な快適環境のまちづくり」自然・生活環境に対する取組

少子高齢化の影響や就業構造の変化により、全国的に消防団員の減少が続いており、当市においても



スマートグラスを着用し、営農指導を受ける新規就農希望者

同様の状況となっております。

市では、団員の確保策として、令和4年度から消防団員の年額報酬の増額と災害に係る出勤報酬を創設し、処遇改善の取組を進めてきておりますが、団員数の減少傾向を止めるまでには至っておりません。

令和5年度からは、消防団活動のうち、基本団員の補完を目的とする、特定の業務を担当する機能別団員制度の導入を進めたいと考えており、今定例会に関係する議案を提案しております。

今後も、消防団員確保に向け、消防団とともに取り組んでまいりますので、市民の皆さまをはじめ関係機関の方々のご協力をお願い申し上げます。

「生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり」教育に対する取組

市長部局と教育委員会が共同で策定した「第3期上田市教育支援プラン」が、5か年の計画期間の中間年を迎えます。児童生徒の学ぶ意欲や未来を切り拓く力の養成などを掲げた施策の推進に向け、教育委員会とともに引き続き取り組んでまいります。

不登校支援につまましては、全国の不登校児童生徒数が過去最多となり、大きな課題となっております。これまでも児童生徒一人ひとりの状況に応じたさまざまな取組や支援が行われてきましたが、市においても支援に関するガイドラインを新たに設け、家庭、学校、教育委員会、民間施設などが連携しながら、多様な教育の機会、居場所を提供し、支援の充実を図ってまいります。

「文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり」に対する取組

文化財の保存・活用につまましては、「上田市歴史的風致維持向上計画」が、2月15日に主務大臣となる文部科学大臣、農林水産大臣、国土交通大臣の認定を

受けました。今後、「上田市文化財保存活用地域計画」や日本遺産との連携を図りながら、文化財や歴史的資源を活かしたまちづくりを重点的かつ全庁的に進め、地域の活性化につなげてまいります。

特に、重点区域における上田城跡整備事業については、事業推進の前提となる「史跡上田城跡保存活用計画」の文化庁認定をいただく中で、旧市民会館の解体や武者溜り整備が着実に実施できるような準備を進めてまいります。

櫓の復元的整備については、その根拠となる古写真や絵画などの資料収集を継続してまいりましたが、令和5年度には懸賞金制度を設けて、広く情報提供を呼びかけ、取組を強化してまいります。

施政方針はインターネットで動画や全文をご覧ください。



市ホームページ

3月市議会定例会初日に提案した議案の概要

- 条例案(13件)
 - 上田市福祉医療費給付金条例中一部改正について ほか
- 令和4年度補正予算(6件)
 - 一般会計2件、特別会計1件、企業会計3件
- 令和5年度当初予算(11件)
 - 一般会計1件、特別会計6件、企業会計4件
- 事件決議案(5件)
 - 上田市第二学校給食センター改築事業建築主体工事請負変更契約の締結について ほか



2016年の上田城千本桜まつりの様子